



Nikoniko

Home Care ニコニコ生活勉強会

ニコニコホームケア

2017年3月号

www.nikoniko.ca,
info@nikoniko.ca / 778-960-4735

Volume 1, Issue 7

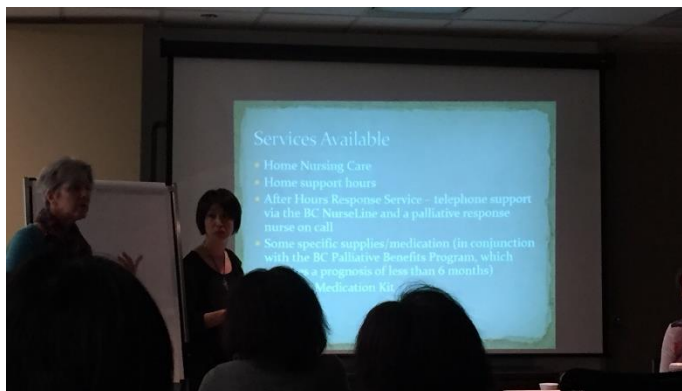
【ホスピスケアについて、とても勉強になりました】

お陰様でニコニコ勉強会も早4年目のクールに入りました。元来この会を発足させようと思った理由は2つです。一つ目が日本語で話せる医療、保健ネットワークを形成すること、そして2つ目はその中で現場で頑張っている専門家をお呼びして、生の声を聴くことでした。そしてお陰様で今回もその夢が叶いました。

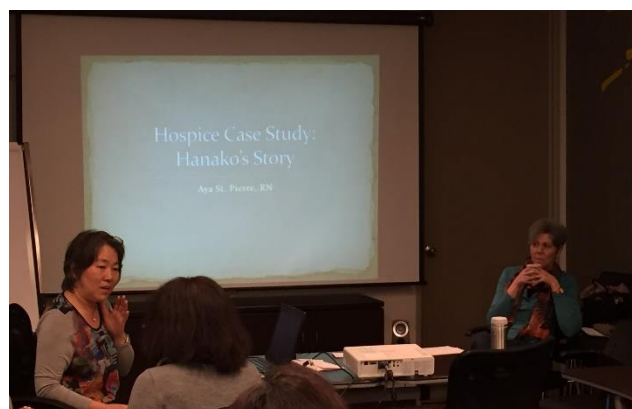
今回はフレイザーヘルスでホスピスにお勤めの現役看護師、セントピエール彩先生と、ホスピス専門のクリニカルナースのクリス先生をお迎えしました。2部構成として、始めはクリス先生からフレイザーヘルス内のホスピスサービスにたどり着くまでのシステムについてのお話があり、続いて彩先生から実際の事例検討がありました。

まずは「ホスピスとは何か？」というお話がありました。それは**概念**であって、患者さんが一番したいことを尊重しながら、亡くなるお手伝いをする分野であるとこのことです。よって時に病院にホスピス病棟があり、治療により良くなるケースもあれば、ホスピスという施設に入り、人生を全うされる方や、また今は在宅で亡くなる為のサポートも多くあるそうです。

近くのホスピスにすぐに入れることはなく、フレイザーヘルスの中央システムにまずは登録して、Bedが空くことを待つそうです。そして行ったん入ったベットからご自宅に近いホスピスに移ることは可能ですが、殆どの方が同じ場所で満足されるそうです。ホスピスの対象と認められると全てが無料と思っていましたが、そうではなく、特別なものへの自己負担はあるそうです。



② クリス先生のお話を日本語で解説中



③ 彩先生からのわかりやすい「花子さん」の事例

第2部として彩先生より事例報告がありました。心不全で亡くなる方の数週間の看護師のケアを追っています。痛みのコントロールに始まり、不安へのアプローチ、家族ケア、お葬式の準備のお話など、全ての角度から、患者、ご家族にBestとなるようにどうするかを考えることはホスピスナースの役割だそうです。さりげなく言われた「昨日も一人の方を看取ってきました」とのコメントに場内がシーンと静まりかえりました。

参加者の皆さん、彩先生とクリス先生への尊敬の念を持つとともに、何故お二人がこの分野にここまで力を注ぐのか、その質問ができました。彩先生ご自身は日本では救命救急の看護師としてバリバリに働いていたとのこと。しかし、その最先端の医療だけでは人が救えない気づいたそうです。そこにマザーテレサの言葉に出会い、この死と向き合う分野に入られました。



赤ちゃんとして生まれてきた時から私たちのたどり着く道は決まっています。ただ忙しい日々の中、毎日の生活を過ごすだけで精一杯でしたが、こうやって「死」を考える時間を頂き、もっとこの分野の教育をしていくことに必要性を感じました。とても貴重なお話ありがとうございました。

「生き方のヒント」講座

1月のヘルスショウでも大変お世話になりました白井常雄先生との小グループの会が3月に発足しました。今回はイントロとして10名の参加者に対し「生き方のヒント」というお題でお話を頂きました。この地球の温暖化、原子力発電の話に始まり、波動、宇宙の話まで。最後は好奇心多く、学ぶ姿勢、しかし謙虚にという、日常生活で気を付けたいアドバイスを頂きました。次回は5月に開催予定です。是非多くの方に参加して頂き、白井先生のオーラーを感じて頂ければ嬉しいです。



😊素晴らしいお話ありがとうございました。

皆様と勉強会でお会いできる事を楽しみにしております。また、介護でお困りの方がいらっしゃいましたらお知らせ下さい！

